

2020 年 10 月 13 日

2020 年 9 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は出版関連冊子、テキスト本文で引き続き動きが見られたが、その他には大口物件が少なく小ロットの積み重ねで推移しており前月同様に前年を下回った。

巻取は一部共済、生保関連の仕事が見られたが、チラシ、金融関連の動きが低調であった為、前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 87.9% 巻取 74.2%）

再生紙は平判、巻取共に官公庁関連受注減と在庫不足による再生紙離れが続いており、前年を大幅に下回った。

（前年比 再生上質平判 76.1% 再生上質巻取 66.8% 再生上質計 72.8%）

（前年比 印刷用紙 A85.0%）

<A2 コート>

自動車、不動産、エンタメ関連で保留となっていたカタログ、パンフレット、チラシ案件で動きがあったが、各業界においてコロナ禍での自粛が継続されており、各種イベントの中止、延期で印刷物全般の需要が大きく減少した。出版関連で一部新規の仕事があり、巻取は前年を上回ったが全体では前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 72.3% 巻取 101.0% 全体 77.3%）

<A3 コート>

食品デリバリー、スーパー、量販店、学習塾などの定期案件チラシで一部回復の動きがあった。しかし、継続的な紙離れとコロナ禍の影響（対策含む）が大きく前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 77.9% 巻取 86.8% 全体 83.2%）

<ノーカーボン紙>

一部 Go To キャンペーンの動きも見られたが、コロナ禍の影響を受け、生損保、金融関連の動きも非常に弱い。昨年は増税前の駆け込み需要があったため、平判、巻取共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 68.0% 巻取 84.3%）

<上質フォーム>

Go To トラベル案件や商品券の需要が一部見られたが、官庁関連の納付書はじめ一般の動きも非常に弱い。昨年は増税前の駆け込み需要があったため、前年を大幅に下回った。

（前年比 72.0%）

<包装用紙>

特殊両更は企業向け事務用封筒、役所向け封筒の出荷も大幅に落ち込み前年を大きく下回った。

(前年比 74.0%)

軽包装は製本会社向け雑包装用途とその他包装用途の落ち込みが依然大きく前年を大きく下回った。

(前年比 83.0%)

片艶晒は一部イベント関連の手提げ袋に動きはあったが、相変わらず低調である。反面、DM 関連、お歳暮、ギフト関連の封筒に動きが見られ、全体では前年を若干上回った。

(前年比 104.9%)

両更晒は金融保険関係、通信会社向け封筒に一部動きがあったが、全体を押し上げるには及ばず前年を僅かに下回った。

(前年比 95.0%)

純白ロールはお彼岸4連休で人の動きもあり、お土産関連で多少の動きは見られたが依然としてインバウンド消費の落ち込みが大きい。クリスマス向けの仕事も例年より数量が少ないなどの影響もあり、前年を大きく下回った。

(前年比 81.4%)

包装紙全体でも 88.2%と前年を大きく下回った。

<板紙>

前月に比べると若干動きが出てきた感はあるが、未だコロナ禍の影響はあり全体的に低調であった。

特にコートボールは土産品関係などなかなか復調しない様子。食品関係や特板等の POP、チップ等で動きがあったものの、全体を押し上げる勢いはなく前年を下回った。

(前年比 90.0%)